

刀ヲヨコタヘ、唐ノ頭巾ヲ頂セテ、其外異類異形ニ出立セ、隨阿彌陀佛、略○中 觀阿彌陀佛ト號シ、將軍并諸國ノ大名集テ、東ヲ指シテ西カト問ヘバ、西ト答ヘ、赤色ヲサシテ黒キカト問ヘバ、黒色ト云、追從ヲ專トシテ、事ニ不成、虛語ヲ巧ミ、顏ヲシカメ、口ヲユガメ、ヲドリ舞狂ヒテ、座ノ興ヲ催シケル、後ニハ幼童ノ如ク出立ヌレバ、自然ニ童坊トゾ申ケル、略○中 武州一家ト人々ヲ始トシテ、將軍ノ近習、諸國ノ人々、諸侍ノ和ノ過タル追從ヲ云シ、ヲバ侍童坊ト笑ヒケレバ、諸國皆如此申セシトニヤ、依之近習ノ人々、并ニ諸國ノ大名ノ奸佞追從、少ハ止ニケリ、

〔枕草子^九〕ありて、予りやうに成たる人のけしきこそうれしげなれ、わづかあるずんざのなめげにあなづるも、ねたしと思ひ聞えながら、いかせんとして、ねんじ過しつるに、我にもまさる物どものかしこまり、只仰せうけ給はらんと、つゝおせうするさまは、ありし人とやは見えたる、

誹謗

罵詈 誹入

誹謗ハ、ソシルト云フ、大ニシテハ、濫ニ國家ノ政事ヲ誹譏シ、小ニシテハ、陰ニ陽ニ他人ノ行爲ヲ誣毀スルガ如キ是ナリ、

罵詈ハ、ノ、シルト云ヒ、舊クハ又ノルトモ云ヘリ、他ニ對シテ、己ノ鬱憤ヲ散ジ、若シクハ他ヲ侮辱センガ爲ニ、高聲ヲ放チテ、之ヲ惡口スルヲ謂フナリ、

〔新撰字鏡〕口嗤嗤同充之字、中略曾志留、二反、〔同言〕訾此反、上毀量也、思也曾志留、語聲、

〔類聚名義抄〕五証不禮反 証正 誣或 誣俗通 誣才笑反、ソシル 謔字 謔居依反、ソシル 譏和、ソシル 非音、ソシル 諷和、ソシル 短音、ソシル 嗤和、ソシル

〔伊呂波字類抄〕所毀毀譽 謗音 誹音 誣音 誣音 謔音 謔音 譏音 謔音 非音 訾音 短音 嗤音